

提言

- 01 小学生に実体験できる体験型教育機会のカリキュラム化
- 02 産業界が社会という広い仕事の視野を提供
- 03 起業家教育の拡充
- 04 多国籍入国者との融合
- 05 創造性、国際色豊かな人材を育む仕組作り
- 06 日本のガラパゴス化した学歴社会の変革
- 07 小学生低学年からの持続性ある英会話カリキュラム化
- 08 職業体験の再体験（中高校期）
- 09 社会の仕組みと仕事の役割の実際を教示
- 10 世界の中の日本を産業という観点で情報提供
- 11 障がい者へのノーマライゼーションをフォロー＝福祉教育1位相模原を目指す
- 12 LGBTの社会的認知
- 13 キャリアパスのレールから脱線した若者へのセーフティネットの構築
- 14 相模原独自に創造性の指標化
- 15 海外から移り住んでくる新しい市民への日本のルールや日本語の教育の拡充
- 16 我々現市民のグローバル化についての理解を深める教育などの必要
- 17 65歳以降の生涯現役支援教育、シニア期からの雇用機会の創出

教育

を考える

生きていくために必要な、

「街の魅力づくり」もうひとつの視点

私たち都市産業研究会では、より魅力的な街「さがみはら」を目指し、産業界からの視点でこれまで様々な提言を行ってきました。近年では今後一層進むであろう少子高齢化社会を見据えて、「コンパクトシティ」をキーワードに周辺環境の変化を踏まえた街づくりの提言を行いました。

今回の提言は「選ばれる街」の切り口として、『教育』をテーマに挙げました。国際競争力が問われる現在にあって20年後、30年後の日本を背負って立つ人材の育成の礎を築くとともに、生涯にわたって学べる場を提供することです。相模原市の地域的特性のひとつは首都圏にありながら豊かな自然に恵まれ、工業はもちろん商業、農業など様々な産業が存在していることです。相模原の財産とも言えるこれらの要素をすべて学びの素材として活用、体系だてて提供することによって、市民のみならずの多様な興味を喚起。自ら学ぶことによって、発見の楽しさとともに問題解決能力など将来必要なスキルを身に付け、学ぶことの楽しさ、本質的なものづくりの楽しさを体験できる貴重な機会を提供します。従来の街づくりにはなかった概念「学び」。これにより相模原は、「人材を育てる街、生涯にわたって学べる街」として、全国に例をみない魅力を発信できると思います。

あとがき

私たち都市産業研究会では、2年前に相模原市が選ばれる街づくりを考える時、何が一番の課題であるかを問い、「教育」を提言書のテーマとして選択いたしました。その上で当会は、この2年間、英語教育に力を入れ、国際化社会に備える人材育成を実践している行政や教育機関、興味を持ったことに対してつきつめることを重要視する教育機関など、独自の取り組みを行っている施設等を視察し、学んできました。

相模原市においてもこうした取り組み事例から学ぶことが大事ですが、まず実行すべきことは、「教育」をもっと広い視野で捉え、産業界や高齢者を巻き込み、市内のあらゆる人が、生涯にわたって学び続けることができる体系をつくりあげることと考えています。相模原市が目指す「教育モデル」を作成する際に、今回の提言が、その一助になれば幸いです。

都市産業研究会 会長 井上 栄次

作成者/相模原商工会議所都市産業研究会 2019年4月1日 発行者代表/会長 井上栄次 原案・編集/監事兼顧問 中嶋幸夫

井上 栄次 (井上栄次税理士事務所)	桑島 克也 (大野土建㈱)	白井 一郎	安西 登 (㈱K・A・S・H)
原 保美 (㈱エフエムさがみ)	市川 英一 (㈱相模運輸)	中嶋 幸夫 (ファナック㈱)	今井 俊男 (㈱町田新産業創造センター)
大瀧 博行 (大昇産業㈱)	萩原 真澄 (萩原製置㈱)	平栗 文夫 (㈱平栗)	齊藤 正巳 (アフォーコムホールディングス㈱)
渡邊知雅子 (㈱サガミビジュアルセンター)	唐澤 章三 (インクループ㈱)	山中 仁 (㈱山中自動車商会)	小野 弘 (小野建材工業㈱)
荒井 聖 (㈱いかりや)	浦上 裕史 (㈱屋浦上商事㈱)	中小川 正 (㈱きらぼし銀行 相模原法人営業部)	金子 政明 (㈱エスユーホームズ)
小峰 望 (のぞみ合同事務所)	櫻内 國富 (㈱櫻内工務店)	清水紳一郎 (㈱清水屋百貨店)	柴田 正隆 (㈱ウィッツコミュニティ)
柴田 正彦 (㈱東急設計コンサルタント)	白井 憲二 (東神興業㈱)	杉岡 芳樹 (相模ガス㈱)	高木 明 (サフラン高木)
高木 幸夫 (高木土地㈱)	高橋 純 (司法書士 高橋純事務所)	田口 直樹 (㈱樹)	武内 英雄 (㈱武内商店)
中村 昌治 (㈱石神前中村商店)	所谷 茂 (つばめ観光バス㈱)	長崎 克央 (㈱創夢設計)	新津 裕史 (新津裕史税理士事務所)
西野 清一 (㈱西野工務店)	萩原 理介	八木大二郎	八木 千露
矢田 正和 (一級技能士事務所 丸正塗装)	渡邊 敦 (特定非営利法人かながわ環境教育研究会)		

提言
相模原の教育



産業人が提供できる「おしえ」の提案とは

人の人生は、一見同じ歩みのように見えますが、そうではありません。目に見えない、学校では教えない、現実という「おしえ」があるのです。都市産業研究会は、産業人の立場から、こどもからシニアに至るまで、その岐路ごとにおとずれる、「現実のおしえ」を、人生の段階ごとに示し、より良い相模原市、そして日本に役立てたいと考え提言をいたします。

小学校期 | 6歳頃から

- 小学生に実体験できる体験型教育機会のカリキュラム化**
 - ▶相模原の産業界には、高度な技術を持った先端企業が、多く体験型学習の場を紹介
- 産業界が社会という広い仕事の視野を提供**
 - ▶いじめという子どもの狭視野が無意味であるということの気づきを与える
- 起業家教育の拡充**
 - ▶児童に起業という選択肢を紹介
 - 産業界と行政が連携し、相模原市の子どもたちから優秀な起業家を創出するため、創業者の講演などの教育協力支援策を実施
- 多国籍入国者との融合**
 - ▶語学や海外文化への興味を高める
 - 外国語・海外文化の理解を児童教育のカリキュラムとして構築することで、外国に対する理解を深め、外国人との融和を促進させる
- 日本のガラパゴス化した学歴社会の変革**
 - ▶小学から中学の各学年の外国人留学生交流を実施
- 創造性、国際色豊かな人材を育む**
 - ▶独創性・独自カリキュラムを実施している教育団体を活用し、秀でた知力や創造力を養う
- 小学生低学年からの持続性ある英会話カリキュラム化**
 - ▶小学1年生から中学3年生までの義務教育の間を統合した英会話教育の導入

中高校期 | 13歳頃から

- 職業体験の再体験**
 - ▶短期間の仕事体験ではなく、期間を工夫しより具体的な職業体験を提供
- 仕事の魅力を伝えるための教への例**
 - (建築設計の例)**
 - ▶実習：「何を造りたいのか」「どう表現するか」をまとめる練習、表現方法の練習
 - (銀行業務の例)**
 - ▶銀行でできる職場体験で、支店業務の見学と講義を通じ、お金の流通と経済の仕組みを知ってもらう
 - (近年敬遠される職業の例：3Kなど)**
 - ▶職業体験を通じ仕事の意義を伝授
 - 業種偏見を取り払い、自分の向き不向きを理解し将来への夢の幅を持ってもらう、職場訪問のカリキュラムを充実
- 社会の仕組みと仕事の役割の実際を教示**
 - ▶各業種間のつながりとそれぞれの役割、重要性を伝える
- 世界の中の日本を産業という観点で情報提供**
 - ▶海外での仕事の実態を経済人の立場から情報提供
- 障がい者へのノーマライゼーションをフォロー**
 - ▶障がい度合に応じて出来ないことではなく、できることや隠れている才能を発掘
 - ▶全市を挙げた取り組みとして福祉と産業人間で、公式業務組織を行政内部に設置
- LGBTの社会的認知**
 - ▶多感な時期だからこそ、多様な「人」を水平目線で理解を深めるカリキュラムを提供

社会人期 | 22歳頃から

- キャリアパスのレールから脱線した若者へのセーフティネットの構築**
 - ▶若者がコミュニケーションを取れる場を提供
 - ▶まなびなおしがしやすい環境づくりや支援
- 相模原独自に創造性の指標を提案**
 - ▶相模原市には、ものづくりに特化した法人が多々あり、相模原独自の創造性に特化した教育指標を創設するための情報を提供
- グローバル化への導入提供**
 - ▶海外から移り住んでくる新しい市民への日本のルールや日本語教育の拡充
 - ▶現市民のグローバル化についての理解を深めるため、文化・言語などの情報を提供
- 障がい者のノーマライゼーションをフォローする全市を挙げた取り組み(福祉教育1位相模原を目指す)**
 - 経済人は障がい者の雇用という現実と直面しており、障がい者の多様な可能・不可能を見極め、能力を伸ばすための様々なポイントを提言する仕組みをつくる
 - 1) 経済人から様々な業種での、雇用内容の提案
 - 2) 職業に対する可能性を見極め、能力を伸ばし生かせるような具体的方法の提案

シニア期 | 65歳頃から

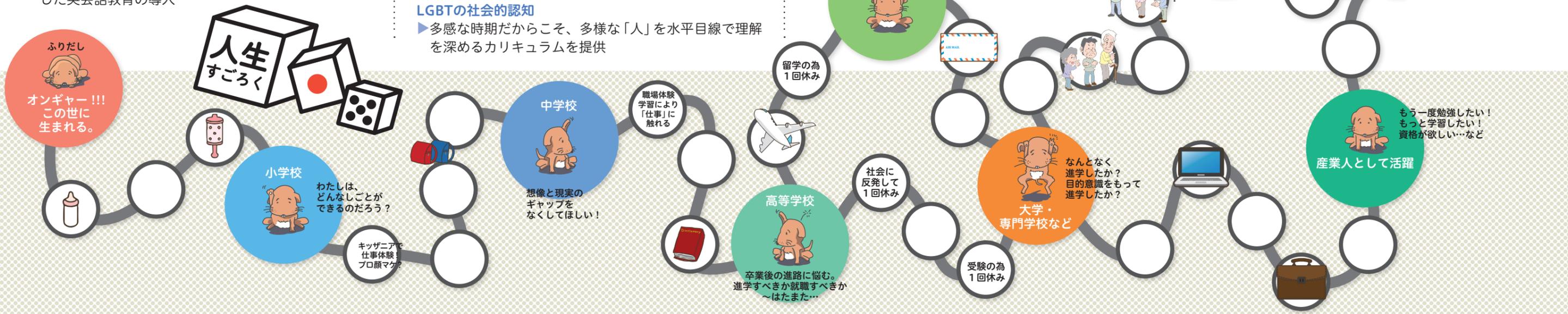
- 65歳以降の生涯現役支援教育**
- シニア期からの雇用機会の創出**
 - 例1) 現役時代の資格・技術をデータベース化するための情報を提供し、地域安全維持などの活動に参加を促すような仕組みを作る(技術士、建築士、各種建築、土木関連資格者など)
 - 例2) 引退した学識経験者の教育再起用による専門博識者の教育の場、地域文化活動などへの顧問起用を提案
 - 例3) 子育て経験を活用する地域総育成の場を創設
 - 例4) 左官職の場合：室内壁塗り、外壁塗りの技術
造園業の場合：植栽の剪定・植樹・移設・伐採・造園の技術を提供

課題

もたらすリスク

職業の多様性の認知不足	←→	仕事の多様性の欠如/特定職業の消滅
社会への進出時のイメージと現実のギャップ	←→	定職者の減少/引きこもり人口の増加
起業家という働き方の認知不足	←→	チャレンジ力のない国/縮小化する日本経済
日本スタンダードのみによるガラパゴス教育	←→	ガラパゴス日本/国際孤立化
国際的コミュニケーション力不足	←→	国際競争力不足/世界順位の後退
障がい者の社会進出に多くのバリアの存在	←→	可能性の縮小/ノーマライゼーションからの逃避
LGBTへの取り組み	←→	多様な人格の拒否/偏見社会の横行
生涯現役への支援	←→	介護、医療費の膨大化/縮退型国家へ

生涯を通しての「おしえ」という観点での「課題」とは



生きていく過程では、さまざまな知恵と機会が肝心です